

## 「巢鴨くじら祭り2019」

### 第4回 くじら川柳 受賞作と選考理由

このたびは、「第4回くじら川柳」に多数、ご応募いただき誠にありがとうございました。今年はこちら部門619作品、大人部門116作品、特別参加3作品をお寄せいただきました。誠にありがとうございました。

ご応募くださった皆さまは今回“くじら”についていろいろなことを考えてお書きいただいたことと思います。拝見してみて、それぞれに味わい深い川柳作品です。選者がそれぞれ「これが素晴らしい！」と一押し作品を選ばせていただき大賞、特選、佳作の三賞を決定いたしました。

選者：三遊亭金八師匠、NPO海のくに・日本、日本捕鯨協会、日本鯨類研究所

#### ◎子ども部門 (全27作品)

##### 1. 大賞 (4作品)

三遊亭金八選

No.508	くじらには すてきなひれと やさしい目	本間 花さん	台東区立蔵前小・3年
--------	---------------------	--------	------------

選評：アタシがクジラだったらこう言われたら超うれしい！（笑）。外見を2ヶ所もほめられたらメロメロよ。あまり注目されない「ひれ」をほめてくれるなんて（ポッ・笑）。イヨッ！ほめ上手…（笑）

NPO海のくに・日本選

No.178	波に乗り 海を旅する 動く島	上竹 龍さん	豊島区立西巢鴨小・6年
--------	----------------	--------	-------------

選評：日本の近海にはたくさんのクジラがいますね。そして日本は6852もの離島を持つ海洋国家です。離島のいくつかは、実はクジラだったりして・・・クジラを島に見立てた想像力に拍手！

日本捕鯨協会選

No.263	クジラパワー 天まで届け 一、二、三	田巻 光士郎さん	豊島区立清和小・5年
--------	--------------------	----------	------------

選評：クジラが海面を突き抜け空高くジャンプしている姿が鮮やかに思い浮かびます。クジラの抗疲労成分バレニンのキャッチコピーにぴったりです。

日本鯨類研究所選

No.168	くじらとね 日本の歴史 刻んでく	飯村 美玲さん	豊島区立西巢鴨小・6年
--------	------------------	---------	-------------

選評：今年令和時代がスタート。また、7月から商業捕鯨が再開されたことを思い、くじらは日本の歴史とともに動いていることを実感させる作品だと思ったので選びました。

## 2. 特選（8作品）

三遊亭金八選

No.443	あかちゃんが おっぱいのむよ ぽっかぽか	神成 迅さん	豊島区立千早小・1年
--------	----------------------	--------	------------

選評：フツーに俳句だと言っても通りそうなくらい手触りのやさしい句。実際に弟ちゃんか妹ちゃんでもいるのかな？お乳をあげるのはクジラが哺乳類の証拠。「ぽっかぽか」という言葉もうれしいです。

三遊亭金八選

No.375	でかいよな くじらからでた <sup>おお</sup> 大うんこ	塩浦 直仁さん	豊島区立千早小・5年
--------	----------------------------------	---------	------------

選評：キミの顔が目に浮かぶなあ（笑）。こういうことを言っちゃあ友達と遊んでるな。「大うんこ」なんて等身大の今のキミの言葉を使った素直さに、黄金色（汚い・笑）の光る魅力を感じました。

NPO海のくに・日本選

No.8	いろいろな ものに変身 くじらさん	吉村 美鈴さん	豊島区立仰高小・5年
------	-------------------	---------	------------

選評：クジラは遠い昔から私たちに多くの恵みを与えてくれました。お肉は食料、油はローソクや石けん、肥料になりました。さらに日本ではクジラのヒゲを人形を操る仕掛けに使い、南太平洋の島々ではクジラの歯をお金のかわりにしてきました。人間とクジラの関わりの多様さを楽しく詠んだ作品です。

NPO海のくに・日本選

No.13	八十種類 みんなちがって みんな良い	国分 大嘉さん	豊島区立仰高小・5年
-------	--------------------	---------	------------

選評：童謡作家、金子みすずの「鈴と、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。」を彷彿させつつ、国分さんはクジラが80種類もあること、それぞれにちがうことをどーんと教えてくれました。ありがとう！

日本捕鯨協会選

No.19	がんばって 生きてるクジラは おいしいな	羽鳥 友統さん	豊島区立仰高小・5年
-------	----------------------	---------	------------

選評：大海原を休むことなく泳ぎ続けるクジラはほんとうに頑張っている。頑張った分だけ美味しくなるんですね。

日本捕鯨協会選

No.48	昔から 日本の助っ人 ありがとう	小林 流歌さん	豊島区立仰高小・5年
-------	------------------	---------	------------

選評：それこそ縄文時代の大昔から日本人の血となり肉となってきたクジラさん。正に日本人のソウル・フードですね。

日本鯨類研究所選

No.423	給食で クジラのすがたを 思い出す	関 花奈実さん	豊島区立千早小・5年
--------	-------------------	---------	------------

選評：給食の時に鯨料理が出る場面を描く作品。くじらをいただきながら、海の恵みを与えてくれる生き物としての鯨を思い描いている小学生のイメージも湧いてきます。

日本鯨類研究所選

No.387	クジラって 海にとっては ちっちゃなてん	高遠 陽大さん	豊島区立千早小・5年
--------	----------------------	---------	------------

選評：世界で一番大きな動物の鯨でも、海の膨大さに比べれば小さな点に過ぎません。人間の大きさも宇宙の大きさも感じさせる作品です。

### 3. 佳作（15作品）

三遊亭金八選

No.108	怒ってる？ 大きな波の クジラさん	ミヤッチャーピュ ーゾウさん	豊島区立富士見台小・4年
--------	-------------------	-------------------	--------------

選評：家でなら「ふん！」と言ってドアを「バターン！」と閉めたような状況？ケンカしちゃったかな。絵文字的な「？」の使い方「顔色を見ながら言葉をかけた」…という優しさと空気感が出ています。

三遊亭金八選

No.153	広い海 大きなお家に 住むくじら	春日茉莉巴さん	豊島区立富士見台小・4年
--------	------------------	---------	--------------

選評：クジラに家はあるかな？(笑)。いや、海が家だとしたらホントに大きい家だ！。この大きさ、こせつかないおおらかさが実に結構です。「大きいことは良いことだ！」

三遊亭金八選

No.567	しおひがり さすがにクジラ でてこない	寺田 愛さん	台東区立蔵前小・3年
--------	---------------------	--------	------------

選評：夏休みにでも潮干狩りに行ったナ？(笑)。自分の体験からクジラにつなげた発想に、意識の広がりを感じました。でも…いたらスゴいな(笑)

三遊亭金八選

No.51	行きたいな クジラがつくる 音楽会	大西 希美さん	豊島区立高南小・5年
-------	-------------------	---------	------------

選評：子供の頃「海のトリトン」というテレビアニメがありまして(古っ、笑)、その主題歌に「♪～どんどこくじらのドラムかん…略…♪～さぁ歌おう七つの海の音楽会」これにピッタリ来たので(笑)。金八のノスタルジーで抜きました。あなたも楽器習っているのかな？

No.199	プラごみと プランクトンを くじら食う	仲道 茉央さん	豊島区立豊成小・5年
--------	---------------------	---------	------------

選評：今年の3月、死んでみつかったクジラがプラスチックを40キロも飲み込んでいたと伝えるニュースがかけめぐりました。仲道さんもきっとこのニュースに衝撃を受けたひとりでしょう。そのプラごみと、クジラがエサにするプランクトンをかけたところが、この作品に味わいを加えました。

No.614	お家でも クジラ料理を 食べたいな	古木 美桜さん	大阪市立吉野小・6年
--------	-------------------	---------	------------

選評：そうです、ぜひお家でも食べてもらいたいです。作戦を伝授しますよ、みなさんが学校給食で食べて、どんなにおいしかったかをお家で伝えられたらきっと、お家の夕食メニューにクジラが登場します！

No.615	守らねば 今と未来の くじら・海	古谷 怜生さん	杉並区立天沼小・4年
--------	------------------	---------	------------

選評：熱くて深い思いを感じました。クジラと人間のかかわりはとても長いものですが、海洋汚染が問題となっている今、未来に向かって「海とクジラに責任を持とう！」という若い意欲が頼もしいです。

No.251	潮を吹き 今日も海で 芸見せる	堀 耀介さん	豊島区立清和小・5年
--------	-----------------	--------	------------

選評：クジラが人気者なのは常に芸を磨いているから。潮を吹いたり、跳んだり、歌ったり、美味しかったり。

No.281	クジラ肉 おいしいのかな 食べたいな	児玉 美季さん	豊島区立清和小・5年
--------	--------------------	---------	------------

選評：初めて食べるクジラ肉はどんな味がするんだろうね。佳作の副賞がクジラ肉の初体験になるのかな。

No.270	くじら食い 絶めつさせない 巢鴨だよ	鈴木 悠太さん	豊島区立清和小・5年
--------	--------------------	---------	------------

選評：くじら汁1000杯食ったくらいじゃ絶滅なんかしませんよ。くじらは海にいっぱい、いるんだから。

No.462	くじらさん 魚類にみせかけ ほ乳類	佐野すおみさん	豊島区立朝日小・5年
--------	-------------------	---------	------------

選評：くじらさんは魚のようで、実はほ乳類。見せかけだけじゃダメされません。

日本鯨類研究所選

No.306	あきのよる いわしくじらが かりをする	柿澤 伊織さん	豊島区立千早小・1年
--------	---------------------	---------	------------

選評：季節感や自然観にあふれた作品。鯨（イロシクジラ）も、鯨に食べられるイワシも一所懸命に生きているすがたを感じさせる作品。

日本鯨類研究所選

No.246	くじらじる くじらのからあげ おさしみだ	西村 啓志さん	豊島区立清和小・5年
--------	----------------------	---------	------------

選評：代表的な鯨料理の名前を並べた作品。平凡感というよりも、食卓の温かさやぬくもりを感じさせる作品。

日本鯨類研究所選

No.271	鯨はね とっても美味しい 友達だ	石川 隆仁さん	豊島区立清和小・5年
--------	------------------	---------	------------

選評：普通は友達を食べないことだと思いがちでしょうが、実をいうと、我々はたくさんの生き物の命を食料の形で毎日いただいています。そうした命をいただくことで自らの命をつないでいます。そのすべてがありがたく大切なお友達です。

日本鯨類研究所選

No.609	美しく クジラがおよぐ うみの中	大沼 ロナさん	豊島区立池袋第三小・5年
--------	------------------	---------	--------------

選評：大海原での生活に適した鯨さんの姿を見事に描写する作品だと思ったので選びました。

## ◎大人部門 (全13作品)

### 1. 大賞 (4作品)

三遊亭金八選

No.85	ベーコンと いえば鯨の はずだった	河部 節代さん	台東区立蔵前小・栄養教諭
-------	-------------------	---------	--------------

選評：下五の「はずだった」で落としたところが川柳の味かと。「昭和30年代あるある」ですね。似たような発想の句が多い中、一番よく言葉がまとまっていると思い、天に抜きました。

NPO海のくに・日本選

No.1	クジラはね ヘルシー ジューシー ちょーおいシー	関川 卓さん	豊島区立仰高小・5年担任
------	-----------------------------	--------	--------------

選評：なんて楽しくって、美味しそうで、調子のよい一句でしょう！さらに3回出てくるシーは sea (海) にかけていると書かれていて、ホント、行き届いた川柳作品に乾杯！

日本捕鯨協会選

No.99	はりはりの 湯気の向こうに 咲く笑顔	仁尾 真愛さん	メール
-------	--------------------	---------	-----

選評：家庭の食卓で当たり前のようにクジラのはりはり鍋が食べられる時代が早くやってくるといいですね。幸せな家庭の団欒が鮮やかに思い浮かぶ断トツでの大賞です。

No.108	一匹を みんなで食べれば 何人分	廣岡 璃香さん	郵便
--------	------------------	---------	----

選評：巨大な鯨一頭でとれる食材を料理にすれば何人前の食事できるのかなって、素朴な質問ですね。この作品は非常に面白いと思ったので選びました。

## 2. 特選（4作品）

三遊亭金八選

No.81	盛り上がる クジラばなしで 歳がバレ	大和田昌江さん	メール
-------	--------------------	---------	-----

選評：これも「川柳の味」がきちんと出ています。最後の「バレ」というカタカナ表記が強く利いて、より作者の「バレ」た年齢を意識させられました(笑)。「昭和バンザイ」

NPO海のくに・日本選

No.79	使い切る くじらに感謝と リスペクト	梶浦 公靖さん	郵便
-------	--------------------	---------	----

選評：クジラを捕獲してきた村人たちは、昔からクジラを残さず余さずにしっかり使い切っていました。現代の私たちも一緒です。クジラに感謝しながらいただき、クジラがもたらしてくれる大きな恵みに、昔の人と同じように畏敬の念をもちつづけていたいと思います。

日本捕鯨協会選

No.93	生鮮の 鯨肉メニュー 仲間入り	荒 高弘さん	メール
-------	-----------------	--------	-----

選評：商業捕鯨が再開して料理店にこれからどんどん鯨肉メニューが増えていくといいですね。生クジラ食べたい。

日本鯨類研究所選

No.18	ほ乳類 されどクジラは 海泳ぐ	佐藤 和也さん	豊島区立駒込中・2年
-------	-----------------	---------	------------

選評：鯨類は海や川という水性環境に適した姿に進化を遂げてきた、我々人間と同じほ乳類。見事にその様子を描く作品。

## 3. 佳作（5作品）

三遊亭金八選

No.103	温暖化 クジラもカラフル 熱帯魚	工藤 和也さん	巣鴨商店街BOX（巣鴨）
--------	------------------	---------	--------------

選評：絵的に連想させられた数少ない句。「もしかしたら…そんなことが起こりうるかも？」と思わせるくらい、この頃の気候変動は激しいです。真っ先に温暖化の被害を受けるのは海の生き物ですね。

三遊亭金八選

No.19	午後の海 クジラに逢えて 時止まる	島野 真綾さん	豊島区立駒込中・2年
-------	-------------------	---------	------------

選評：「時止まる」という言葉をどう解釈するかによって、この句の価値が変わると思います。「逢えて」という表記にも、ちょっと違ったクジラとの対面なのかも。ミステリアスな句？(笑)

No.78	食い自慢 自信ありげな ラーマン	須能 輝江さん	FAX
-------	------------------	---------	-----

選評：今年ならではの一句。しっかり食べて、体もできている”クジラ選手”にぜひともトライを決めてもらいましょう。

日本捕鯨協会選

No.40	くじら肉 食べれると知り 驚きだ	池畑 妃南さん	豊島区立駒込中・2年
-------	------------------	---------	------------

選評：私もかつてサルが食べられると知り驚きました。クジラを食べたことのない世代だったら当然かも。

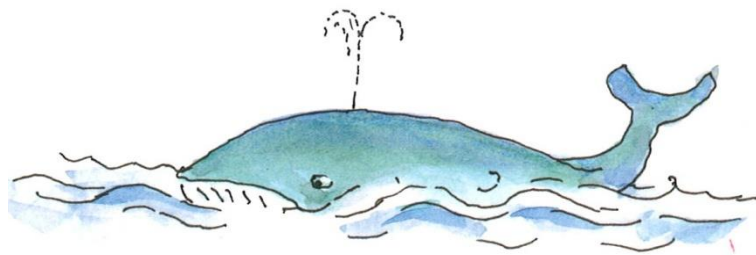
日本鯨類研究所選

No.113	クジラ汁 食べて納得 和の伝統	亀嶋 寧子さん	メール
--------	-----------------	---------	-----

選評：美味しいくじら汁を初めて召し上がる人の感度と和食の奥深さや伝統の大切さを同時に詠う作品だと思いました。

【特別参加作品：後援団体トップの皆さまからお寄せいただきました。】

- 「勇魚とり 浜の活力 満ちわたる」 (水産庁長官 山口英彰様)
- 「海こえて 夢は大きく 文化都市」 (豊島区長 高野之夫様)
- 「天高く 夢吹き上げる クジラかな」 (豊島区教育長 三田一則様)



につぼん  
**NPO海のくに・日本事務局**  
〒104-0061 東京都中央区銀座 3-12-15 銀座細谷ビル  
TEL. 03-3546-1291 FAX. 03-3546-1164  
E-mail [gyo@WFF.gr.jp](mailto:gyo@WFF.gr.jp) <http://www.WFF.gr.jp>